

一緒に夢を話そう

My Dream



さ せ ゆう き
佐瀬 優生 さん

(成東小6年)



ふじ た あり さ
藤田 亜利沙 さん

(成東小6年)

ぼくの夢は、 おすし屋さん

ぼくは、小学校に入る前、初めて回転寿司を食べに行った時、お寿司の美味しさに驚き、お寿司を作ってみたいと思いました。今ぼくは、時々包丁を使って台所でお手伝いをしています。これからも包丁さばきを磨いて、りっぱなおすし屋さんになりたいです。

わたしの夢は、 世界中で役に立てるお医者さん

わたしは、尊敬する人が二人います。一人目はわたしが小学2年生のころ、病気で入院した時優しく対応してくれたお医者さんです。もう一人は、世界中の貧しい人を助けたマザー・テレサさんです。そんな二人のような世界中で役に立てるお医者さんになりたいです。

編集後記

▼3月下旬、21年度の人事異動の発表がありました。広報広聴係への異動は、今までの部署と180度転換。写真を撮るのも苦手、文書を書くのも苦手「こんなわたしで大丈夫？ただよね？」なんて自問自答している毎日です。▼今年、子どもが地元の中学校に入学しました。入学式の風景は、みんな希望に満ち溢れたいい顔をしていて、何とも言えずいいですね。私も子どもと同じ一年生です。初めてでもわかりませんが、子どもに負けないように、いい顔で、常に向上心を持って、仕事に取り組んでいきたいと思えます。(一)

▼4月は、入学や入社、退社した人や新しい環境に途惑った人が多くいたのではないのでしょうか。何を隠そうわたしもその一人です。4月から新しく職場に先輩を迎え、新体制で作った5月号。無事発行でき、ホッとしている今日このごろです。▼今月号から裏表紙に小学生の夢を紹介していきます。世の中には夢を持ち続け、叶えた人がいます。だから、夢は持たないより持ち続けたほうがいいと思います。大人はもう一度子どもの頃の夢を思い出して頑張ってみてほしい。そしてなにより親子で語る時間を作って欲しい。そんな想いから始めました。(一)